

初期洋画の技術的変遷(Ⅲ)

—19世紀イギリスにおけるカンバス製造会社—

神庭 信幸

-
- | | |
|-------------------|---------|
| 1. はじめに | 4. まとめ |
| 2. 19世紀絵画のカンバスマーク | 5. おわりに |
| 3. カンバス製造会社の推移 | |
-

論文要旨

これまで行った調査により、日本人画家が日本国内あるいはヨーロッパの各地で制作した19世紀後半の油彩画の下地は、天然に産出する白亜を主成分とする白亜型、鉛白を主成分とする鉛白型、その他として亜鉛華を含む下地の3種類の系統に分類できることが分った。更に、白亜型下地は日本およびイギリスで制作された作品に多く、鉛白型下地はフランスおよびイタリアにて制作された作品に特徴的であることから、下地の種類と制作地とに強い関連性が存在することも明かとなった。この内イギリスと日本に共通する白亜型下地は、当時の日本の社会的状況や、日本周辺の地層からは白亜が大量に産出しないことなどを考え合わせ、イギリスで生産されたものと判断されるが、多くのカンバスがカンバスマークなどの生産地を特定する記録を持たないためそれを実証することが出来なかった。

そこで、19世紀イギリスにおけるカンバス製造の実体を調査すると共に、イギリス製カンバスの分析によって下地組成に関する知見を得、これによって白亜型下地とイギリスにおいて製造された下地との関連性を検証することとした。本稿では、19世紀イギリス絵画のカンバスに押されたスタンプ、布の経緯糸の本数、下地の状態、および19世紀イギリスにおけるカンバス製造会社の推移に関して行った調査について述べる。調査によって、カンバスのスタンプマークは必ずしも総ての製品に押されるものではなく、むしろ19世紀では稀な性格のものであることが判明した。また、カンバスの経緯糸の本数は経緯糸共に15本前後のものが過半数を占め、これが19世紀に特徴的な布であると言えるだろう。これら2点は、わが国の19世紀の作品にも共通する特徴である。次に、カンバスの製造会社に関しては、少なくとも15社が営業していたことが明かとなった。18、19世紀イギリスの職業別分類帳による調査結果を参考にすると、Reeves & Sons, Geo. Rowney, Thomas Brown, Chales Roberson, Winsor & Newton 社等の製品が比較的多く使用されたと推測できる。

1. はじめに

日本人画家が日本国内あるいはヨーロッパの各地で制作した19世紀後半の油彩画について、下地の構造と成分に関する分析を行った結果 [1, 2, 3], 下地は天然に産出する白亜を主成分とする白亜型, 鉛白を主成分とする鉛白型, その他として亜鉛華を含む下地の3種類の系統に分類できることが判明した。更に, 白亜型下地は日本およびイギリスで制作された作品に多く, 鉛白型下地はフランスおよびイタリアにて制作された作品に特徴的であることから, 下地の種類と制作地とに強い関連性が存在することも明かとなった。日本周辺からは絵画材料として使用できるほどまとまった量の白亜は産出しないため, 白亜型下地が日本で製造されたとは考えにくく, したがって明治初期における絵画材料や絵画技術に関する情報は, イギリスからあるいはイギリスを経由してわが国に流入していたと推測することが可能になった。

しかしながら, これまでに分析を行ったほとんどの作品には, 会社の名称と所在地を記したスタンプ(ステンシル)やラベルがカンバスの裏面にないため, イギリスとの関連性が強い白亜型下地が実際にイギリスにおいて製造されたものであるとの確証を得ることは困難であった。この点を明らかにするためには, 19世紀イギリスにおけるカンバス製造の実体を調査すると共に, イギリス製カンバスの分析によって下地組成に関する知見を得, これによって白亜型下地とイギリスにおいて製造された下地との関連性を検証する必要がある。

本稿では, この検証のための準備として, 19世紀イギリス絵画のカンバスに押されたスタンプ, および19世紀イギリスにおけるカンバス製造会社の推移について行った調査の結果について述べてみたい。

2. 19世紀絵画のカンバスマーク

(1) 調査方法

19世紀のイギリス絵画 2000 点余りを収蔵するロンドンのテートギャラリー[4]の保存修復部(Conservation Department)には, ほとんど総ての収蔵品についてそれらの保存状態や修復方法・工程などを記録したカードが作成, 保存されている。テートギャラリーは, 1954年にナショナルギャラリーから分離独立して主に近代以降の作品を収蔵・展示する美術館となったため, 調査カードには1954年以前のナショナルギャラリー時代の形式で記載されたものと, 独立以後に新たに作成されたカードに記載されたものがある。独立後のカードの記入形式は時代と共に変化して行くが, 基本的な事項は同じである。他の関連機関にも共通することであるが, 新しいカードほど記載内容が詳細で, かつ写真による記録が増える傾向にある。

筆者はこれらの調査カードを利用して, カンバスに描かれた1125点の19世紀絵画作品に関して,

カンパス裏面に押しあてられたスタンプマーク、カンパスの織り方、カンパスの1cm当りの経糸と緯糸の本数についての記載事項を調べた。同時に、カンパスの断片が残してあるものについては少量の試料の採取を行った。

調査カードの中のスタンプマークに関する記述は、多くの場合手写によることがおおく、写真記録を残すようになったのはここ15年ほどである。調査は極く一部のものを除いて、実物資料あるいは写真記録の観察に基づくものではなく、カードの記載を利用した調査によって成り立っているため、調査の精度は多分にカードの記載者に依存していると言える。

(2) 調査結果

表1はカンパスの製造会社別に、作品番号、画家名、制作年、マークから読み取れる会社の所在地、経緯糸の本数、布の組織についてまとめたものである。

調査作品の内、約10%の117点の作品にスタンプマークが見られ、製造会社数は16社であった。スタンプマークを持たないカンパスがどのような素性のものであるかについては類推する他はないが、布、下地、木枠などに関する記載事項の内容をマークのあるカンパスについての記載と比較すると、商業的に生産されたものと考えられるものが多い。比較の際に注目する点は、例えば下地表面の平滑度、均一性、透明感や色彩、カンパスの周辺の処理等がどの程度類似しているかである。

1点の作品にのみ見られたBlanchetは住所の表記からフランス製であることが分る。他の15社は同じく住所の表記からイギリス国内の製造会社である。マークのある作品について述べる限り、外国製カンパスの使用例は極めて少ないと言える。また、R. Davyは、カンパスよりも木材板に下地を施したパネルの製作を行っているのが特徴的である。

1795年の展覧会出品の記録があるBeecheyの作品(No. 4688)に使用されたJ. Poole社製のカンパスが今回の調査では最も古いものであった。これは18世紀後半にはカンパスの商業的製造販売が行われていたことを示すものである。作品点数が比較的多い会社をマークが現われる順に挙げると、Thomas Brown, R. Davy, Charles Roberson & Co., Winsor & Newtonとなる。スタンプマークから19世紀には数多くの会社があったことが分るが、わが国の明治初頭に当る時期では、特にCharles RobersonとWinsor & Newtonのマークが多くの作品に見られた。

スタンプには会社名とその所在地とが表わされているだけでなく、それらのスタンプに続いて、更に別のスタンプが押されている場合がある[5]。Thomas Brownにはこうしたスタンプが数種類ある。第1はT BROWN/High Holbornに続けて[10|32]のスタンプを持つ作品(No. 1275)、第2はT BROWN/HIGH HOLBORN/LONDONに続けて[8-|39]のスタンプ(No. 399)、第3はT BROWN/163, HIGH HOLBORN/LONDONに続けて[10|38]、[9-|35]、[TB|10|43|BH]、[TB|10|49]、[TB|10|44]などのスタンプ(それぞれNo.5753, No.5410, No. 608, No. 3584, No. 1981)などである。制作年代は順に1836, 1849, 1839, 1836, 1848, 1849,

1845前後であることから、最初の2桁の数字はカンバス製造の月を示し、次の2桁が製造年を示すと考えるのが妥当であろう。TBはThomas Brownのイニシアルに間違いはないが、BHについては不明である。

Charles Roberson & Co.にはPREPARED BY/CHARLES ROBERSON/51, LONG ACRE/LONDONに続けて「CR | 547Q」と「CR | 553」のスタンプを押した作品(それぞれNo. 4634, No. 1685)がある。何れもCRはChales Robersonのイニシアルであろうが、次の3桁の数字およびQが表わす意味は不明である。

Roberson & MillerではPREPARED BY/ROBERSON & MILLER/51, LONG ACRE/LONDONに続けて「R&M | 1463」と押した作品(No. 4634)がある。R & MはRoberson & Millerを表わすと考えられるが、4桁の数字が持つ意味はここでも不明である。

カンバスの繊維は、調書に記述のあるものについては総て亜麻と記載されている。カンバス布の組織としては、平織が154例、綾織が10例であった。平織布の経緯糸についての1cm当りの本数は表2にまとめた。経緯糸の本数が両者共に同じで、それらの本数が12, 13, 14, 15, 16, 17, 18の布が多く、15本がこれらのほぼ中心に位置している。経緯糸の数は測定位置や観察時の個人差などから経緯糸合せて1~2本の幅を持つものと考えられるので、例えば16x16, 14x16, 15x14, 13x15の布などは15x15として扱うことにする。このように考えると経緯糸の数が15本の布が全体の50%以上を占めることになり、特徴的な布目と見なしてもよいだろう。

一方、わが国では、高橋由一「司馬江漢像」にWinsor & Newton, 国澤新九郎「静物」, 「自画像」にRowney, 五姓田義松「伊太利人半身像」, 「操芝居」にパリ製, 小山正太郎「白菊」にパリ製, 原撫松「老婦人」, 「ヴァイオリンを弾く男」, 「裸婦」にWinsor & Newton, 百武兼行「母と子」, 「サドルバック山」などにWinsor & Newtonなどが見付かっている[6, 7, 8]。Winsor & Newtonのカンバスが比較的多く見られるようであるが、スタンプマークが押してあるカンバス自体の数が非常に限られているため、特に何れの会社の製品が多く使用されたかについては明言はできない。糸の本数については、経緯糸が14~16本前後のものがやはり多く、19世紀イギリスのカンバスと類似している。

残念ながら今回の調査では、下地の性格を明らかにする成分分析の結果は得られなかったが、「淡いクリーム色を帯びた」, 「やや透明感のある」, 「均一な表面」などの言葉によって下地を表現したものが多かった。

3. カンバス製造会社の推移

19世紀イギリスにおける製造会社に関する調査は、C. Leach [9]が18, 19世紀の職業別分類帳(The Directories)を用いて詳しく行っているため、表3にその結果を引用し製造会社の推移を眺めてみたい。Leachの調査によれば、22の絵画材料の製造関連会社が挙げられている。そ

れらが必ずしもカンバスの製造を行っていた会社であるとは限らないが、当時の画材製造業全体の様子を理解できるので、ここではそれら総てを紹介しておく。

表3を用いれば、表2で挙げた会社の活動時期の様子を理解することができる。18世紀後半に設立された会社として、Newman, Poole・Brown, Reeves & Sons, Rowney の4社の名前が挙がっている。Reeves & Sons から独立した Newman は1936年に再び Reeves に吸収合併されている。マークの調査からは2点の作品にこれらの会社のマークが見付かっているが、何れも19世紀後期の作品である。Poole・Brown は、Poole の後を Brown が引き継いで19世紀中期まで続いた会社である。調査では Poole のマークが18世紀の作品に現われ、19世紀中期まで Brown のマークを持つカンバスが沢山見付かっている。Rowney のマークは中期から後期に掛けての作品に見られる。19世紀の前期に設立された Roberson と、中期に設立された Winsor & Newton は共に、中期から後期に掛けての多くの作品に出現するマークである。

マークの調査で見付かった会社のうち表3にはないものは、Davis, R. Davy, Sherborn & Co., W. A. Smith の4社であるが、何れも出現頻度は小さい。

カンバスに施された下地の種類がどの様なものであるかについては明らかではないが、1841年の“The Art Union”に掲載された Roberson の広告の中に“PREPARED CANVAS For oil Painting, with Indian-Rubber, Oil, or Absorbent grounds”, また同年同誌に Rowney の宣伝として“Canvasses prepared with Indian Rubber, Flemish, and other grounds”などの用語が見られる。Oil ground は油性下地、Absorbent ground は吸収性下地と考えられ、その他に Indian Rubber ground と Flemish ground と表わされた下地などがあるが、それらがどのような材質あるいは性質のものか現時点でははっきりしない。

4. まとめ

本調査によって明らかになった点を以下のようにまとめることができる。まず、スタンプマークを持つ作品の割合が調査の対象となった作品1125点の10%程度であり、かつスタンプマークを持たないカンバスも商業製品と考えられるものが多いことから、スタンプマークは必ずしも総ての製品に押された性格のものではなく、むしろ19世紀では稀なものであったと結論できる。また、カンバスの経緯糸の本数については、マークの有無にかかわらず経緯糸共に15本前後のものが過半数を占め、これが19世紀に特徴的な布であると言えるだろう。これらの2点は、わが国の19世紀の作品にも共通する特徴である。

次に、カンバスの製造会社に関しては、少なくとも15社が営業していたことが明かとなった。中でも、Thomas Brown, Chales Roberson, Winsor & Newton のマークを持つ作品が他に比較して多く、販路の広さを伺い知ることができる。職業別分類帳による調査結果を参考にすると、15社総てが同時期に存在した訳ではないことが分る。15社の内の Davis, Davy, Sherborn,

Smith の4社は、分類帳の調査で挙げられた22社の中には入っていなかった。これら、マークの調査と分類帳の調査結果とを総合して考えると、Reeves & Sons, Geo. Rowney, Thomas Brown, Chales Roberson, Winsor & Newton 社等の製品が比較的多く使用されたと推測できる。わが国では、このうち Rowney と Newton のマークが同時期の作品に数例見付 かつているだけである。

下地の組成については、成分分析がまだ行われていないため未確認であるが、調書の記載には、淡いクリーム色とか半透明などの表現がしばしば使用されている。文献的には、Art Union という雑誌の広告欄に油性下地、吸収性下地、Indian Rubber Ground, Flemish Ground の4種が紹介されている。

5. おわりに

本調査の実行に当り、あらゆる面で多大の御尽力と御協力を頂きましたロンドン大学コートールド研究所の故 Gerry Hedley 氏, Stephan Rees-Johns 氏, テート・ギャラリー保存修復部の Stephan Hackney 氏, Joyce Townsend 女史に深く感謝致します。

なお本稿は、昭和63年度文部省在外研究員としてロンドン大学コートールド研究所にて行った調査研究の成果の一部である。

表1 スタンプマークからみたカンバスの製造会社と所在地

製造会社名称	作品N°	画 家	制作年代	マークに記された会社の住所	経緯糸	組 織
Blanchet	N5031	Scott	d1880	Rue Bonaparte 32, Paris		
Thomas Brown	N1988	Turner	c1802	163, High Holborn, London		
	N5957	Constable	1826-27			
	N1275	Constable	c1836	High Holborn		
	N0603	Landseer	exh1835	High Holborn, Linen	15x19	平
	N5410	Ward	d1836	163, High Holborn, London	16x16	平
	N0419	Lee	d1839	High Holborn, Linen		
	N0523	Turner	exh1839	163, High Holborn		
	N0610	Landseer	exh1839	163, High Holborn		
	N5753	Martin	d1839	163, High Holborn, London	16x16	平
	N5516	Turner	c1840	163, High Holborn, London	15x15	平
	N0525	Turner	exh1840	163, High Holborn, London		
	N1985	Turner	c1840-45	163, High Holborn, London		
	N2002	Turner	c1840-45	163, High Holborn, London		
	N2425	Turner	c1840-45	163, High Holborn, London		
	N5475	Turner	c1840-45	163, High Holborn, London	18x18	平
	N5476	Turner	c1840-45	163, High Holborn, London	15x18	平
	N5482	Turner	c1840-45	163, High Holborn, London	18x18	
N5486	Turner	c1840-45	163, High Holborn, London	15x18	平	
N5487	Turner	c1840-45	163, High Holborn, London	20x20	平	
N5488	Turner	c1840-45	163, High Holborn, London	15x18	平	

(表1のつづき)

製造会社名称	作品N°	画 家	制作年代	マークに記された会社の住所	経緯糸	組 織
	N5513	Turner	c1840-45	163, High Holborn, London		
	N0372	Turner	exh1842	163, High Holborn, London	16x16	
	N0447	Cooke	d1843	163, High Holborn	—	wood
	N0531	Turner	exh1843	163, High Holborn, London		
	N0534	Turner	exh1843	163, High Holborn, London	17x17	平
	N0535	Turner	exh1843	163, High Holborn, London		
	N0540	Turner	exh1844	163, High Holborn, London		
	N0543	Turner	exh1845	163, High Holborn, London		
	N0544	Turner	exh1845	163, High Holborn, London		
	N1981	Turner	c1845	163, High Holborn, London		
	N4659	Turner	1845	163, High Holborn, London		
	N0549	Turner	exh1846	163, High Holborn, London		
	N0550	Turner	exh1846	163, High Holborn, London		
	N0442	Lance	d1847	163, High Holborn		
	N0608	Landseer	exh1848	163, High Holborn, London	25x8	綾
	N0399	Eastlake	1849	High Holborn	16x15	平
	N3584	Millais	1849-50	163, High Holborn, London		
	N0415	Landseer	exh1850	167, High Holborn, London		
	N3161	Hunt	1827-1910	108, High Holborn, London		
Davis	N3201	Collinson	1857	Chenies Mews 10 Huntley St., Tottenham Court Road		
R. Davy	N0241	Wilkie	1820-23	16, Wardour Street	—	wood
	N0517	Turner	exh1832	83, Newman Street, London	—	wood
	N5474	Turner	c1832	83, Newman Street, London	—	wood
	N0408	Landseer	exh1833	83, Newman Street, London		
	N0426	Webster	d1834	83, Newman Street, London	—	wood
	N4207	Houghton	1836-75	83, Newman St., Oxford St., London		
	N0427	Webster	d1845	83, Newman Street, London	—	wood
	N2939	Stevens	c1851	83, Newman St., Oxford St., London		
	T0046	Webster	d1852	83, Newman Street, London		
	N4152	Houghton	c1860	83, Newman St., Oxford St., London		
	N3907	Houghton	c1861	83, Newman St., Oxford St., London	14x14	平
W. Eatwell	N3338	Stanhope	exh1859	49, Dorset St., Baker St.		
	N1350	Landseer	c1862	49, Dorset St., Baker St.	15x15	平
	N3514	Walker	exh1869	49, Dorset St., Baker St.	15x15	平
	N5770	Millais	d1872	49, Dorset St., baker St.	16x16	
Newman	N1543	Waterhouse	d1888		15x15	平
J. Poole	N4688	Beechey	exh1795	High Holborn, London	18x18	
John Reeves	N4633	Stephens	c1850	98, John St., Tottenham Court Rd.	15x9	
	N3065	Brown	1849-54	98, John Street		

(表1のつづき)

製造会社名称	作品N°	画家	制作年代	マークに記された会社の住所	経緯系	組織
John Reeves	N5795	Linnell	d1856	2, John St., Tottenham Court Rd.		
Reeves & Sons	T2018	Herring	c1870	113, Cheapside, London	16x16	平
Charles Roberson & Co.	T1522	Johnson	c1825-30	99, Long Acre, London		
	N0452	Herring	exh1847	51, Long Acre, London	16x16	平
	N1506	Millais	d1852	51, Long Acre, London	15x15	平
	T0630	Lear	d1852	51, Long Acre, London		
	N0563	Seddon	1854	51, Long Acre, London		
	N1477	Inchbold	d1854	51, Long Acre, London	16x16	平
	N4634	Stephens	c1854	51, Long Acre, London	14x14	平
	N1685	Wallis	d1856	51, Long Acre, London	18x20	平
	N4429	Brown	1851-92	99, Long Acre, London		
	N1538	Nicol	d1864	99, Long Acre, London		平
	N1781	Frith	d1865		15x15	平
	N3053	Rossetti	1865-66	51, Long Acre, London		
	N1527	Faed	exh1870	99, Long Acre, London		平
	N1535	Holl	d1877	99, Long Acre, London		
	N1536	Holl	d1877	99, Long Acre, London		
	N1554	Haynes-Williams	d1877	99, Long Acre, London	16x17	平
	N2898	Legros	d1877	99, Long Acre, London		
	N1512	Hook	d1880	99, Long Acre, London		
	N1625	Strudwick	exh1885	99, Long Acre, London		
N2286	Horsley	d1889	99, Long Acre, London			
N1574	Leighton	exh1890	99, Long Acre, London			
N5381	Burne-Jones	1896-97	99, Long Acre, London			
Roberson & Miller	N0435	Cooper	exh1834	51, Long Acre, London		
	N0407	Stanfield	1836	51, Long Acre, London		
	N0417	Pickersgill	exh1837	51, Long Acre, London		
Geo. Rowney & Co.	N0445	Pickersgill	exh1845	51, Rathbone Place, London		
	N3467	Stevens	1851		18x20	
	N1407	Dyce	1859-60			
	N4921	Hemy	1866-68	London	15x15	平
	T0902	Grimsham	d1887	52, Rathbone Place & 50, Oxford Street, W1, London	13x13	平
Patrick Shea	N4766	Starr	1891	21, Warren St.	13x13	平
Sherborn & Co.	N5478	Turner	c1825-30	321, Oxford Street		
	N4664	Turner	c1835-40	321, Oxford		
	N4665	Turner	c1840	321, Oxford		
	N5477	Turner	c1840	Oxford		
	N4660	Turner	c1840-45	321, Oxford		
W. A. Smith	N4449	Watts	d1882	74, Charees St., Middlesex Hospital, W	20x14	綾
Winsor&Newton	N0388	Uwins	1839	Rathbone Place, London	16x17	平

表3 19世紀画材製造会社一覽[9]

BARNARD

1843	Jabex Barnard advertises in "The Art Union". 339 Oxford St.
1852-58	Appeared in directories at same address.
1860	Firm name becomes J. Barnard & Son.
1871	Acquire additional address, 19 Berners St.
1875	Stanhope St. added to above address.
1875	address in directory: 339 Stanhope St., 97 Boundary Road.
1880	Oxford St. address only given (W. Badger moves into 97 Boundary Rd).
1881-84	Change of Oxford St. number to 233.
1885-91	Oxford St. address dropped. New address 19 Berners St. Presumably this address was retained after 1871, though not given in directories During 1880's change of firm name. to T. Barnard & Sons.
1911	Move to 82-4 Old St. E. C. where they remained till at least 1940.

BRODIE & MIDDLETON

1823-30	Jesse Middleton at 81 St. Martins Lane, Gone by 1836.
1840	J. C. Brodie (Brushmaker) at 69 Long Acre.
1846-50	J. C. Brodie at 79 Long Acre.
1852	Brodie and Middleton 79 Long Acre. The firm is still at this address, specializing in theatrical materials.

L. CORNELISSEN & SONS.

1880	22 Gt. Queen St. (continuation of Long Acre). Still at this address, and the last colourmen in London to specialize in dry pigment.
------	--

EATWELL * BADGER

1855-56	W. Eatwell established at 49 Dorset St., Baker St..
1875-77	W. Badger takes over, using address 49, Dorset St., Portman Square, W.
1880-84	Moves to 97 Boundary Rd., NW. (1881, using both address).
1889	Not in directory.
1903	Badger & Eatwell, 192 Broadhurst Gardens NW.
1911	Same: not followed up after this date.

S. & J. FULLER

1809-52	At 34 Rathbone Place. Out of existence by 1860. Known as "Artists colourmen and paintseller" - specialized in drawing materials and watercolours. Apparently did not deal in oil painting materials at all.
---------	--

LECHERTIER, BARBE & CO.

1826-30	Charles Barbe, painting brush maker, established at 60, Regent's Quadrant.
1836	Barbe, Camille, 60 Regent's Quadrant.
1846	Charles Barbe, 6-Regent St.
1850-52	Barbe L., 60 Quadrant, Regent St.
1853	Eugene Lechertier Barbe. 60 Regent St.
1856	Lechertier Barbe, 60 Quadrant, Regent St. and new address; 32 Marylebone St.
1880	Further address 5&7 Glasshouse St.
1897-1900	Move to 95 Jermyn St. (probably 1899).
1880-1900	Reeves & Sons took over financial control of the firm.

(表3のつづき)

1970	Jermyn St. shop closed. Compilers of the English directory obviously had trouble with the french names until finally Lechertier Barbe was fixed on. Charles may be an anglicization of Camille, was three generations could hardly have passed in sixteen years. An advertisement in "The Years' Art" 1900 claims "72 years at 60 Regent St., which would make the foundation date 1827-8.
MILLER & CO.	
1828-40 Dec. 1840	Roberson & Miller, 51 Long Acre. Advertisement in The Art Union. Miller announces break with Robersons, and new address 33 Rathbone Place.
1842	Thos. Miller 50 Long Acre (probably misprint for 56).
1843-54	Thos Miller, 56 Long Acre.
1856	Mrs. Henrietta Miller, 56 Long Acre (widow).
1860	Miller & Co. same address.
1873-4	Disappears from directories.
1878-80	A Miller & Co. at 134 Hampstead Rd. NW. Not necessarily connected.
MULLER & CO.	
1850	62 High Holborn.
1889	Additional address 439 Strand.
1900	Both above addresses, plus two more.
1911	315 High Holborn and 99 Queens Rd. Bayswater. Not followed beyond this date.
LIONEL NATHAN	
about 1881	Founded, 5a Diana Place.
1887	Became 6 Diana Place.
1905	Disappeared from directories. Specialized in canvases, using kangaroo trademark.
JAMES NEWMAN	
1780-90	Founded by James Newman. pupil of Reeves.
1823-1903	24 Soho Square.
1936	Merged with Reeves & Sons. One of the first firms to manufacture water colours; exhibited photographic tinting colours in the great Exhibition of 1851.
JAMES POOLE * THOMAS BROWN	
1780-90	James Poole established at 163 High Holborm "Colourman & Artist".
1799	James Poole, High Holborn, "Colourman to Artists". Not in directories for 1825, 30.
1823-4	Thomas Brown in directories at 163 High Holborn.
1832	Therefore must be successor to James Poole.
1840-43	Advertisements in "The Art Union". References to his "late father" suggest there were two Thos. Browns.
1846-54	Directory entries, giving above address.
1856	Disappears from directories.
JOHN REEVES	
1848-50	Established at 98 John St., Fitzroy Square.

(表3のつづき)

1853	2, John St., Tottenham Court Rd.
1867-9	John St. Renamed Whitfield St.
1870	Using address: 6, Whitfield St., Tottenham Court Rd. Used "Late John St." on labels for a year or two.
1879	Final appearance in directory. No connection with other Reeves firms.

REEVES & SONS

1766	Probable foundation.
1782	Brothers William & Thomas Reeves at 2, Well Yard, Little Britain, using the blue coat boy sign.
1785	Wm. and Thos. quarrel.
by 1790	Reeves, Wm. inventor of watercolours, 300 Strand and 92 Cornhill. Reeves, Thos. & Son, colourmen to her Majesty, 80 Holborn Bridge (now using grey-hound sign). In receipt of royal warrants from Queen Charlotte and the Prince of Wales.
1799	Reeves & Imwood. colour preparers, 300, Strand. Reeves J. & Son, 80 Holborn Bridge. Colourmen to her Majesty. The J. in the directory is probably a misprint for T., as 1799 was the year in which Thomas died and was succeeded by his son, William.
1807	Reeves & Imwood still at 300 Strand, using Kings Arms & Bluecoat Boy sign.
1824	William Reeves, son of Thomas, in operation at 80 Holborn Bars. In partnership with william Woodyer.
1826	Directory entry: Wm. John Reeves & Sons, 80 Holborn Hill: (Sons James and Henry).
1829	Reeves & Sons moves to 150 Cheapside. (N. B. All the Holborn addresses refer to the same premises).
1845-6	Address changed to 113 Cheapside.
1866	Factory moved to Dalston. Mechanical grinding introduced.
1890	Became Limited Company.
1895-1905	Open shops at Moorgate, Ludgate Hill, Charing Cross Rd., Kensington High St., Exhibition Rd., Circus Rd. in addition to 113 Cheapside. Gain control of Lechertier Barbe Ltd.
1936	Took over Newman & Co. Only Charing Cross Rd. and Kensington High St. retail shops now bear the name Reeves.

ROBERSON & CO.

1810	Charles Roberson at 54 Long Acre. "Artist's Colourman and primed cloth and ticken preparer".
1828	Roberson and Miller, 51 Long Acre.
1840	Partnership dissolved (see below, Miller).
1853	Moved to 99 Long Acre.
1893	Acquired additional address, 154 Piccadilly.
1903	Both address still in use.
1907	Became Limited Company, C. Roberson & CO. Ltd.
1937	Moved to 101-4 Park St. NW1.
1939	Park St. renamed Parkway, and number changed to 71. Still at this address.

GEO. ROWNEY & CO.

1780-85	Thos. and Richard Rowney come to London, set up as perfumeries.
---------	---

(表 3 のつづき)

1799	Begin business as artists colourmen, 95 Holborn Hill.
1801	Thos. Rowney joins with Guest, making "Patent Palette Colours" at 82 Pall Mall. Richard Rowney remains at 95 High Holborn, selling perfumes and Thomas's products.
1806	Thos. and Richard together again at 106 Hatton Garden.
1815	Move into 51 Rathbone Place.
1817	Geo. Rowney (Thos. son) and Richard Foster, varnish makers, at Rathbone Place and 14 Oxford St.
1837	Foster retires, name reverts to Geo. Rowney & Co.
1844	Partnership with C. D. Dillon (name: Rowney, Dillon & Rowney).
1848	Dillon leaves, name reverts to Geo. Rowney Co.
1850	Took lease at 10 Percy St, (used as factory).
1854	Took 52 Rathbone Place, retaining 51.
1858	Dropped 51 Rathbone Place.
1859	Add 11 to 10 Percy St.
1862	Opened retail shop, 29 Oxford St.
1869	Factory (except canvas priming) moved to 10 Diana Place, Euston Rd.
1875	O Diana Place added.
1880	Malden factories built for preparation of canvas.
1881	Oxford St. renumbered, 29 becomes 64.
1884	Left 52 Rathbone Place.
1885	Built 12 Diana Place (used for canvas priming). Open branch at 57 Rue St. Anne, Paris.
1905	Left 64 Oxford St. Opened 61 Brompton Rd.
1906	Paris Branch moved to 27 Rue des Bons Enfants.
1922	Became Limited Company.
1925	Brompton Rd. shop closed. Present retail address 11 Percy St.

PATRICK SHEA

1871-3	Established at 21 Warren St.
1875	127 Whitfield St. Directory does not give Warren St. address.
1877	21 Warren St. given.
1880	127 Whitfield St. given.
1884-1900	Warren St. Presumably Shea had both addresses for a period, although they are never given together in the directories.
1900-10	56 Fitzroy St. Not followed up after this date.

L. H. SIMPSON

about 1842	36, London Rd., Southwark (from dated painting). This firm does not appear in the directories.
---------------	---

J. BRYCE SMITH

1880	Smith, John, 117 Hampstead Rd.
1881	J. B. Smith, Brushmakers, same address.
1905-11	117 Hampstead Rd. N. W. During this period approximately, the firm was producing canvases. 1920, 1930 Classified as brushmakers.

参考文献

- (1) 神庭信幸：初期洋画の技術的変遷（Ⅰ）—明治初期油彩画の下地組成—，国立歴史民俗博物館研究報告，19(1989)，357—391
- (2) 神庭信幸，佐藤時幸：明治初期油彩画の下地から見付かった石灰質ナノプランクトン，古文化財の科学，34 (1989)，46—51
- (3) 神庭信幸，佐藤時幸：初期洋画の技術的変遷（Ⅱ）—明治初期油彩画の下地組成と石灰質ナノプランクトン—，国立歴史民俗博物館研究報告，37 (1991)，現在校正中
- (4) The Tate Gallery Collections, Tate Gallery, 1984
- (5) Butlin, M., Turner's Late Unfinished Oils: Some new evidence for their late date', Turner Studies. I (1981), 43—45
- (6) 神庭信幸：油彩画の下地白色塗料の研究，東京芸術大学大学院美術研究科保存科学専攻修士論文，1979
- (7) 坂本一道，佐藤一郎，歌田真介：第2章 油画作品71点の基礎資料，明治初期油画基礎資料集成，中央公論美術出版，1991
- (8) 創形美術学校修復研究所における修復作品についての調査カードから
- (9) Leach, C., 'Some Reference Material on Artists Colourmen', Third year's project of the Courtauld Institute, University of London, 1970

(平成3年10月22日提出)

(国立歴史民俗博物館情報資料研究部)

Nineteenth Century Canvas Manufacturers
in England

KAMBA Nobuyuki

Previous investigations into materials used in the grounds of Japanese oil paintings in the late 19th century had shown that the grounds could be classified into 1) chalk type, 2) lead white type, and 3) others according to their elements and structures. It was also found that chalk type grounds were found in the paintings produced in Japan and England and that lead white type grounds were found in the paintings produced in France and Italy.

In this paper, 1125 nineteenth century English oil paintings in the Tate gallery were examined to find for stamp marks, to determine the number of wof and weft per square centimeter of fabric as a support, and to check the condition of the surface of the grounds. The result was compared with nineteenth century canvas manufacturers in England, which had been investigated using directories of the eighteenth and nineteenth centuries published in England. It was revealed that less than 10 percent of paintings had stamp marks, and the most popular numbers for wof and weft were about 15 respectively. These two results figures were very similar to those found in Japanese paintings.